

ベトナム溶接研究会第6回研究会 ウェビナー開催

勝又 美穂子

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業 国際人材育成部門 特任准教授(常勤)

2021年3月23日(火)、昨年10月のベトナム溶接研究会セミナー(オンライン)に続き、第六回目の研究会をウェビナーとして開催しました。今回はウェビナー開催ということで日本、ホーチミン市、ハノイ市、バンコクなどから合計30名の参加があり、オンラインのメリットを活かしたセミナーとなりました。

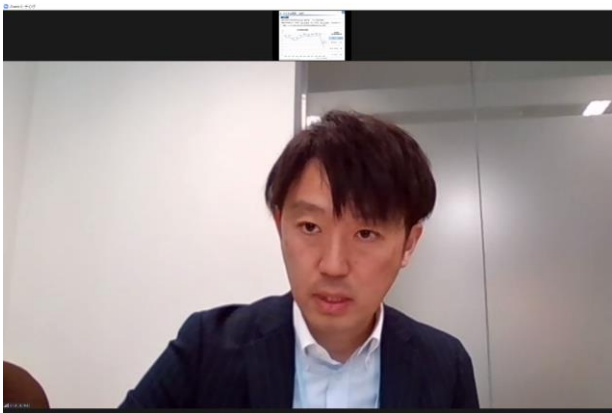
田中 学会長(接合科学研究所長)からの開会の挨拶に続き、一件目の講演は日本貿易振興機構(JETRO)ハノイの小林恵介次長より、『ベトナム経済概況と日系企業の動向～新型コロナウイルスの影響を受けて』と題し、コロナ禍のベトナムにおける企業の最新動向についてご報告いただきました。本会はベトナムへ進出されている、あるいは進出を考えている企業が参加されていることから、現状における最新動向の共有は今後を見通す上でも非常に有意義でした。二件目の講演は当研究所、佐藤雄二准教授より、『青色半導体レーザーを用いた次世代金属積層造形技術の開発』と題し、独自開発のレーザーヘッドを利用した最先端の積層造形技術の紹介等が行われました。溶接・接合技術の一つとして最先端を行く同技術が、これから

どのように社会で活用されていくかを想像しながら、参加者は興味深く聞き入りました。その後、オンラインならではの、接合科学研究所バーチャル見学を放映し、当研究所の一部設備をご訪問頂きました。

セミナーの最後には当研究会副会長の Bui Van Hanh 准教授(ハノイ工科大学機械工学部溶接工学金属技術学科長)から今後の継続的な連携と会の発展を願う閉会の言葉が述べられ、終了しました。セミナープログラムの終了後には、ネットワーキングセッションとして参加者をランダムに4名程度のブレイクアウトルームに分割し、個別にご挨拶及びご歓談をお楽しみ頂きました。

今回も直接集まることはできませんでしたが、オンライン上でも定期的に企業の皆様と顔を合わせ、最新情報・技術について勉強することに強く意義を感じています。

この場をお借りし、同研究会の活動を支えて頂いている企業及び関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



JETRO 小林次長



接合研 佐藤准教授